



図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

TOPICS

1. 企画展示「SDGs 関連図書」～知ることから始めよう！



SDGs とは？

図書館では、SDGs に関連する資料を集めた展示を行っています。

SDGs とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年の国連サミットで採択された2030年を達成年限とする「持続可能な開発のための目標」で、「貧困」「教育」「経済成長と雇用」「インフラ、産業化、イノベーション」「持続可能な都市」「気候変動」「エネルギー」「平和」など、世界が直面する課題を網羅的に示した17の国際目標(ゴール)と169のターゲットから構成されています。

「SDGs」ってなに？と感じた方、まずは、興味のある「テーマ」の中から本を選んで読んでみましょう。本学のSDGsへの取り組み・関連する研究についても紹介しています。



2. 電子ブック「Maruzen eBook Library」30タイトルを購入

後期授業の指定教科書・参考資料、貸出の多いプリント版図書、試読サービスで利用されたタイトルなど30冊を購入しました。

<一部紹介>

「Pythonで動かして学ぶ！

あたらしい機械学習の教科書」

「ゼロからはじめるプログラミング；

Java入門編」

「架橋反応ハンドブック」

「流れ学」「大気環境の事典」

「糖質の科学」

「はじめての環境学」

「技術者倫理の世界」

「新訂日本建築」

「図説建築の歴史」

「太陽電池の基礎と応用」

アクセス方法)大学のネットワークに接続されたPCから利用できます。蔵書検索等からのリンクあり。

学外からもアクセス可能です。詳しくはiLearn図書館サイトをご確認ください。

*購入済みの155タイトル(英語多読図書43冊も含む)も合わせて、自宅学習の資料としてもご利用いただけます。



3. LA(後援会選書WG委員)、オンラインで活動開始

コロナウイルス拡大に伴う登校や課外活動が制限されるなか、学生選書委員・LAはオンラインで今年度の活動をスタートさせました。

- ・オンライン委員会：第1回6/19、第2回8/5 今年度の活動計画などを協議
- ・オンライン読書会：7/2 8名参加 テーマ「ステイホーム中に読んだ本」
- ・オンライン・ビブリオバトル：9/2 5名参加

後期も、課外活動などの制限がありますが、オンラインや十分な感染対策を講じた上での対面活動(読書会やビブリオバトル、選書ツアーなど)も企画していきます。

～本が好きな方、興味がある方は図書館に集合！メンバーは随時募集中です～

4. 「文献検索のキホン講座」後期受講受付中！

引用のしかた、参考文献の見方、データベースや電子ジャーナルの使い方まで、レポートや論文作成に役立つ文献に関する知識・検索テクニックを学べます。

後期は、オンデマンド+対面講義(研究室単位も対応)で開催します。

開講日時：10/21(水)2限、11/6(金)3限、11/9(月)3限、11/12(木)5限

*内容、申込については、図書館ホームページ(QRコード)及び掲示ポスターをご覧ください。





友次 克子 先生 (情報デザイン学科) に聞く

「本を手にとってみる」

今回の読書への羅針盤は情報デザイン学科の友次克子先生です。

友次先生は、認知言語学という文の構造の性質を調べるのがご専門で、さらに具体的に聞くと「ことばは映像のようにすべてを見せることはできないので、構文という鋳型(パターン)に語を入れて情報交換します。」と説明してくれました。

子供の頃は外で遊んだり、本もよく読んでいたようです。PEANUTS(スヌーピー)が大好きで中学からは英語で読めるようになりたくて、勉強をしていたと話してくれました。高校や大学時代に衝撃を受けた本を聞いたところ、ヘルマン・ヘッセ作『車輪の下』、『知と愛』や、司馬遼太郎作『坂の上の雲』を挙げてくださいました。

そんな先生の趣味は、旅行。学生時代には電車を利用して九州一周を達成したそうです！ただ、最近は忙しくて時間が取れず、計画しかできないことを残念がっておられました。

学生に是非読んでほしい本はと伺うと、川添愛作『白と黒のとびら』という本を挙げてくださいました。この本は、魔法使いの弟子となった主人公が魔法使いになるための勉強をしていく中で奇妙な遺跡や言語に出会う物語です。ファンタジーの世界の中でオートマトンと形式言語という難しい題材を扱っているため、内容が難しそうに

思えますが、図と説明を用いて読みやすくなっています。先生は「作者が言語学、自然言語処理の研究者というのに驚きました。」と仰っていました。私も興味がわき少し読んでみたところ、ファンタジーとして読みたい人には不向きかもしれないが、謎を読み解いていく本と捉えれば面白いと思ったので気になる人は是非読んでみてほしいです。

最後に理工科大学学生の印象と学生へのメッセージを伺いました。「普段は巣ごもり、ボランティアや部活では遅しい、という印象です。話してみれば実はいろいろ活動しているんだ〜！という人でいてください。今は読書案内が簡単に手に入りますが、本も人と同じように出会いが大切なので、装丁を見て実際に手に取って選ぶのが一番と思います。」と話してくださいました。

今回は、コロナウイルス対策のためメールでの取材に加えての対面での取材という形になりましたが、思いのほか話が弾みいろいろな話をさせていただきました。友次先生、お忙しいなか取材をさせていただき、本当にありがとうございました。

【所在】

「白と黒のとびら：オートマトンと形式言語をめぐる冒険」西閲覧室 007.1/Ka98

インタビュー・記事：情報デザイン学科4年 山崎健太

『もしも一年後、この世にいないとしたら。』

清水研 著

死ぬ可能性があることを知った時、自分はどうするだろう？この本は、がん患者専門の精神科医および心療内科医である清水氏の体験をもとに書かれている。かなりの確率で治るようになったものの「死」を意識する病気、がん。患者さんたちとのカウンセリングを通してどのように生きていくか、また死ぬまでにどうしたいのかを考える。生きる意味とは何か悩んでいる人に読んでほしい。

コンピュータシステム学科4年 鈴木彩夏

『ロスジェネの逆襲』 池井戸潤 著

今年ドラマの第2シリーズが放送されていた「半沢直樹」の前半の原作にあたりますが、ドラマとはまた一味違った面白さがあります。銀行員の半沢直樹が銀行員としての自分の信念を貫き、数々の逆境を乗り越えていく物語です。前作で衝撃のラストを迎えてから2ヶ月、半沢に新たな壁が立ちはだかります。この苦難に半沢はどう立ち向かっていくのか…痛快な逆転劇が魅力の物語です。タイトルの「ロスジェネの逆襲」とはなにかが分かった時にとってもスッキリしておすすめるのでぜひ一度読んでみてください。

建築学科4年 岡部クミ

田村 博 先生 (機械工学科) の

一手指南

推薦図書

『2022年の次世代自動車産業 異業種戦争の攻防と日本の活路』

田中 道昭 著 (PHP研究所)

本書は、研究室にて4年生向けに前期の遠隔講義セミナーで活用したものである。購入したのは今年の初めて、初版の発行から約1年半が経過していたが、筆者の予測がどの程度的中しているのかに興味を持ったからである。読み進めるうちに自動車業界の動向や、取り巻く世界環境、自動運転技術、EV化やIoT化など驚くほどよく当てはまっていた。(もちろん自動運転技術や空飛ぶ車の世界的なアピールの場となる東京オリンピックの開催は大はずれであった。)私の研究室は「航空系」ではあるが、個人的には自動車そのものや自動車に関連した技術や業界動向、各社のコーポレートメッセージなどにも興味を持っている。車のデザインやカラーリング、カタログやTVコマーシャルでの「謳い文句」、販売やアフターサービス方法などは、エンジニアとしてもマーケティング全般を学ぶのに良い教材だと思っている。当研究室では卒研5名のうち3名が自動車工学コースの学生であったこともあり、このStay Home 期間を有効に活用し、何か興味を持って「読書」をしてほしいという思いがあった。機械工学科では、県内の製造業で特に輸送機器関連の業種への就職が多いこともあり、就職活動に活かせる「知識」を持ってもらい、それぞれの将来の生活設計を真剣に考えて欲しいという考えから教材に最

適と判断し、遠隔講義セミナー用に5冊を購入して、各人へ配布を行い、読書感想をもとにディスカッションを行ってきた。

自動車業界は100年に一度の大変革の時代で、日本にとっては「絶対に負けれない戦い」と言われているが、現在の学生たちが社会に出て、それぞれの会社にて中核をなす仕事をする頃には、すべての業界にも影響が出て、自分たちの価値観も大きく変わり、暮らし方や働き方に始まり、さらには生き方にも大きく影響しているだろうと思う。

本学で言えば全ての学科が関連する「次世代自動車産業」である。本書からは、企業や経営者の哲学、思い、こだわり、言い換えるとミッション、ビジョン、バリューから各社の戦略を読み取ることもできる。皆さんの将来に向けて、ひとつの指針となりうるビジネス書として紹介しておく。

なお、研究室の卒研生が就職活動中にある企業の最終面接にて「自動車産業は将来に向けて何をどのようにしなければならぬと思うか?」との質問があったそうである。結果「内定」を得た学生からも本書の推薦があったことを最後に付け加えておく。

【所在】西閲覧室 537.09/Ta84

新着図書紹介

その他の新刊情報は▶図書館 Web サイト>蔵書検索>カテゴリ検索>新着リスト



幻想小説とは何か…三島由紀夫怪異小品集, 三島由紀夫著/東雅夫編, 平凡社

「伝わる日本語」練習帳(電子ブック) 阿部圭一, 富永敦子著, 近代科学社

ストリートの美術…トウオンブリからバンクシーまで 大山エンリコイサム著, 講談社

3色だけでセンスのいい色…見てわかる, 迷わず決まる配色アイデア ingetare 著, インプレス

デッサウのバウハウス建築(バウハウス叢書), ヴァルター・グロピウス著/利光功訳, 中央公論美術出版

からだを測る…健康管理機器の仕組みと働き, 澤野井幸哉, 志賀利一著, 電気学会/オーム社

SDGsを考える…歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会, 高井亨, 甲田紫乃編, ナカニシヤ出版

RANGE…知識の「幅」が最強の武器になる, デイビッド・エプスタイン著/東方雅美訳, 日経BP

人間知能と人工知能…あるAI研究者の知能論, 大須賀節雄著, オーム社

らいぶらりあん

「誰かを想うとき」

図書課 奈良谷光江子

コロナ禍で図書館が休館となり在宅勤務をしていた際、また自由に図書館を利用できるようになった時のために、本の特集展示や企画を考えたりしていました。本の紹介サイトを参考に、過去に読んだ本やいつか読んでみたいと思っていた本を検索して、テーマごとにリストアップしました。学生が手にとってくれる様子を想像しながらのこうした作業は、時間を忘れてしまうほどでした。

ほど楽しめていないようです。でも本や雑誌だったら自分のペースでゆっくり、何度でも楽しめるのでは？と思いつき、母と一緒に旅した頃を懐かしく思い出しながら、好きだった旅行や料理など、見ているだけでも楽しくなりそうな写真が美しい本を選びました。

自分で読む本を選ぶときと同じく、誰かに贈るための本を選ぶことも楽しいものです。展示企画を考えている時にもそうでしたが、手に取る人の顔や反応を思い浮かべつつ、これがいいかな、やっぱりこっちのほうが・・・と悩むのは幸せな時間です。いただいた時も同

また最近本を贈る機会が相次いでありました。一人目は学生時代からの親友へ。いつも元気な彼女から久しぶりの電話で、ガンの告白。幸い初期でしたが、治療のためしばらく通院が必要とのこと。そこで、通院の電車や病院での待ち時間に軽く邪魔にならない文庫本を、その時の気分で選んでもらえるようジャンルを変えて数冊選び、手紙を添えて送りました。二人目はコロナの影響で半年以上会えない状況が続いている実家の母に。認知症の症状があり、また年齢とともに耳も遠くなっているため、テレビも以前

で、贈ってくれた人の気持ちに思いを馳せながら手に取ると、何だかそばにいるような温かい気持ちになります。自分では手に取らなかつただろう本との出会いによって、新たな好奇心が沸いてくることもあります。本に限らず贈り物とはそういうものなのかもしれません。こんな時だからこそ、会えない誰かのことを思い、自然と笑顔になるようなやさしい時間を持ちたいものです。そして一日も早く誰もがまた以前のように、自由に元気に再会できる日が来ることを心から願っています。

LIBRARY CALENDAR

開館時間：■ 9:00~18:00 ■ 9:00~20:00 ■ 9:00~16:00 休館日：■

10月							11月							12月							2021年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	・	・	1	2	3	4	5	・	・	・	・	・	1	2
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30	・	・	・	・	・	27	28	29	30	31	・	・	24	25	26	27	28	29	30
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	31	・	・	・	・	・	・

- 【休館】10月23日(金)/26日(月) は大学祭準備/片付けのため、1月15日(金) は大学入学共通テスト準備日のため休館
- 11月3日・23日(祝・授業日)、12月24日(木/授業なし) の開館時間 9:00~18:00
- 10月25日(日)は大学祭、1月30日(土) は試験期間中につき開館 9:00~16:00
- 12月26日(土)~1月3日(日) は冬期休業のため休館

※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】学生の構内立ち入り制限が解除され、対面授業を主とした後期授業が始まりました。図書館にも以前のように学生の姿が多くみられるようになり、学生あつての大学図書館であることを再認識しています。新入生のなかにはまだ図書館を利用したことがない学生も多く、安全に留意しつつ、学修・研究の役に立てるように支援を継続していきます。